

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(男性, 30歳代)あります。推定感染地域は国外(スリランカ)で, 推定感染経路は蚊媒介です。これまでに京都市内で報告されているデング熱は, 全て海外の流行地で感染し, 帰国後に発症する輸入症例です。本年の累積報告数は5例となっています。
- ・ **梅毒**の報告が3例(20歳代男性, 40歳代男性, 20歳代女性)あります(第26週追加報告分含む)。本年の累積報告数は15例となっています。過去10年間で最多となった平成26年(11例)をすでに上回っています。今後の発生動向にいつそうの注意が必要です。
- ・ **風しん**(検査診断例)の報告が1例(男性, 20歳代)あり, 症状は発疹・発熱・リンパ節膨脹・関節痛・関節炎・その他(血小板減少・肝酵素の微増)です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。ワクチン接種歴は不明です。本年初めての報告となっています。有効な予防方法は風しんワクチンを接種することです。風しんのウイルスは感染力が強く, 妊娠4カ月までの妊婦が感染すると, 生まれてくる赤ちゃんが先天性心疾患, 難聴, 白内障等の「先天性風疹症候群」にかかる可能性があります。妊娠中に予防接種は受けられないので, 妊娠する可能性のある女性で, 以前かかったかどうかわからない人は血液検査で風しんの抗体価を調べ, 必要に応じて予防接種を受けましょう。また, 男性も, 周囲に妊娠する可能性のある女性がいるなら, 予防接種を受けるようにしましょう。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.44(59例)となり, 現在のところ本年度で最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類: **デング熱** 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 四類: **レジオネラ症(肺炎型)** 2例【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 五類: **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症** 2例(第26週追加分1例含む)【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 五類: **梅毒(早期顕症Ⅱ期)** 3例(第26週追加分を2例含む)【1月以降の累積報告数 15例】
- ・ 五類: **風しん(検査診断例)** 1例【1月以降の累積報告数 1例】(第26週追加分)

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.06	4
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	14.56	597
	② 感染性胃腸炎	4.37	179
	③ ヘルパンギーナ	1.44	59
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	55
	⑤ 咽頭結膜熱	0.51	21
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

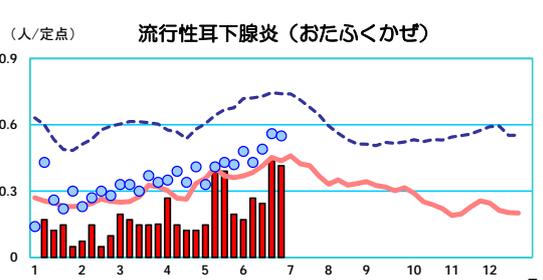
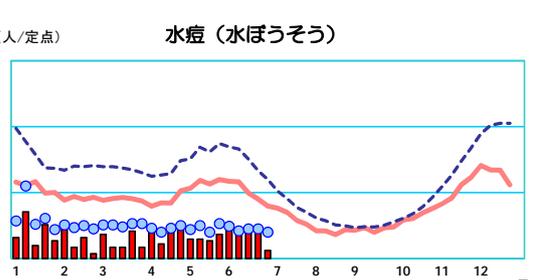
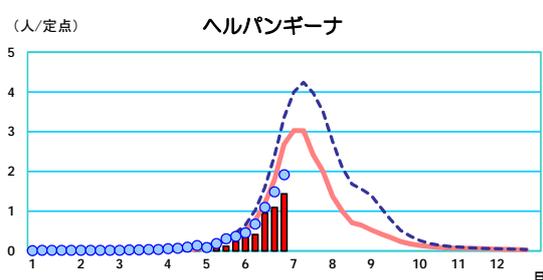
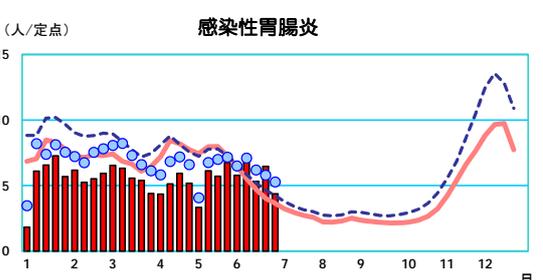
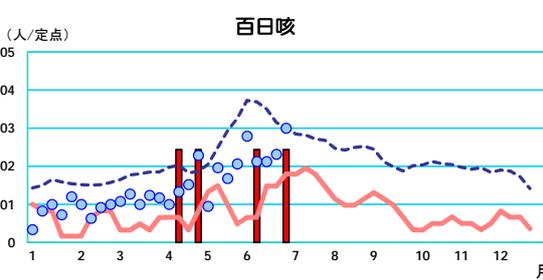
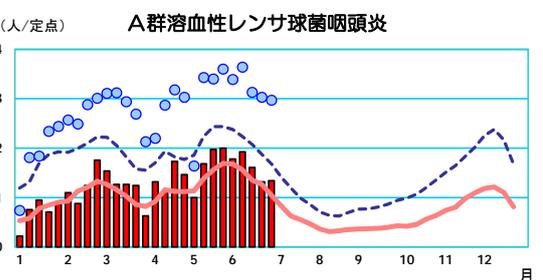
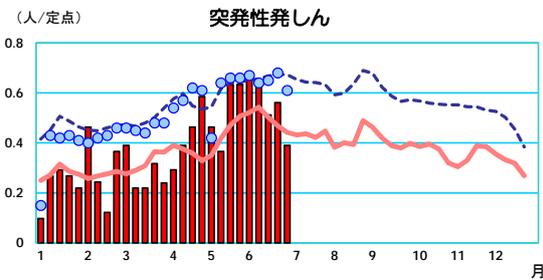
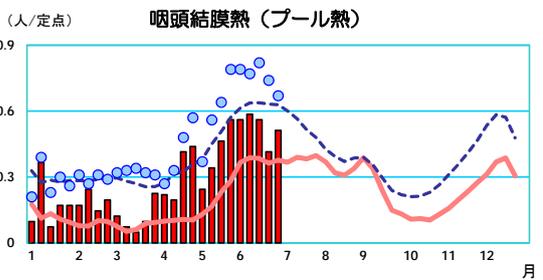
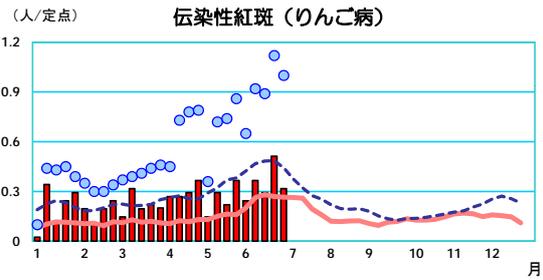
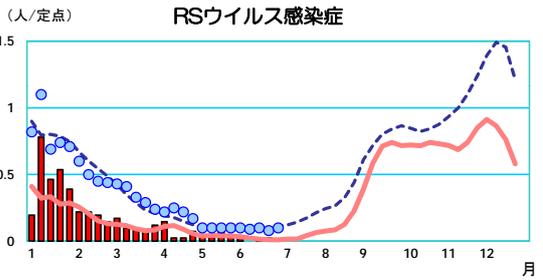
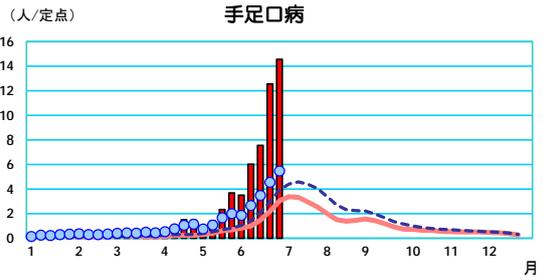
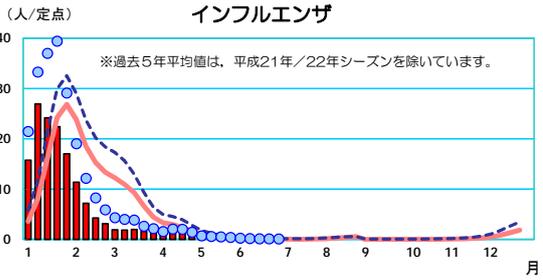
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年7月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第27週(6月29日～7月5日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市及び全国の発生動向

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.44(59例)となり、現在のところ本年度で最も多い報告数となっています。本市では第24週(6月8日～6月14日)以降、3週連続で増加しており、全国的にも報告数の増加が続いています。都道府県別では3県で警報レベル「6」を超えており、多い順に三重県、福岡県、愛媛県となっています。夏かぜの代表的疾患であり、今後の発生動向に注意が必要です。

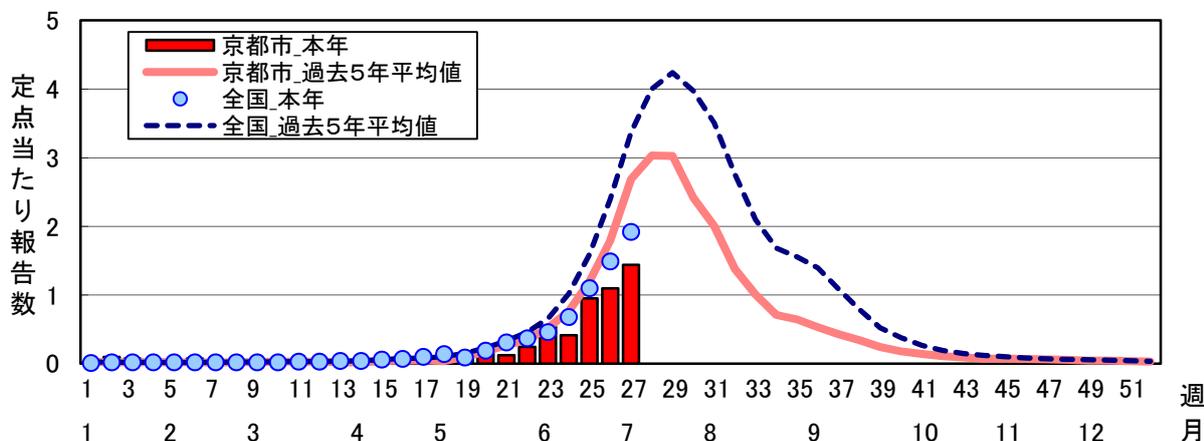
症状

ヘルパンギーナは、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性感染症です。乳幼児を中心に夏季に流行する疾患で、患者の年齢は5歳以下が全体の90%前後を占めています。感染から2～4日の潜伏期間の後、突然の発熱に続いて咽頭痛や咽頭発赤を呈し、口腔内には水疱や発赤が現れます。2～4日で解熱し、通常は1週間以内に治ります。

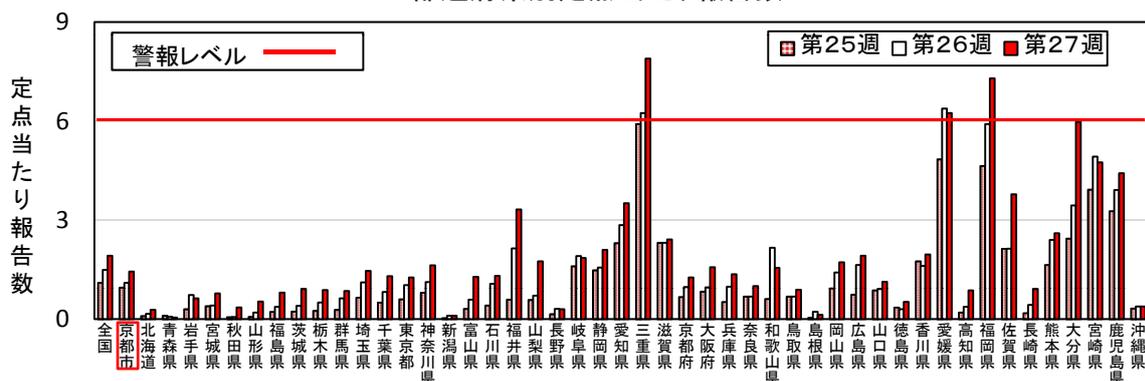
治療及び予防

特異的な治療法はなく、発熱や頭痛に対する対症療法が中心となります。時に脱水に対する治療が必要となることがあります。予防法は感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することです。

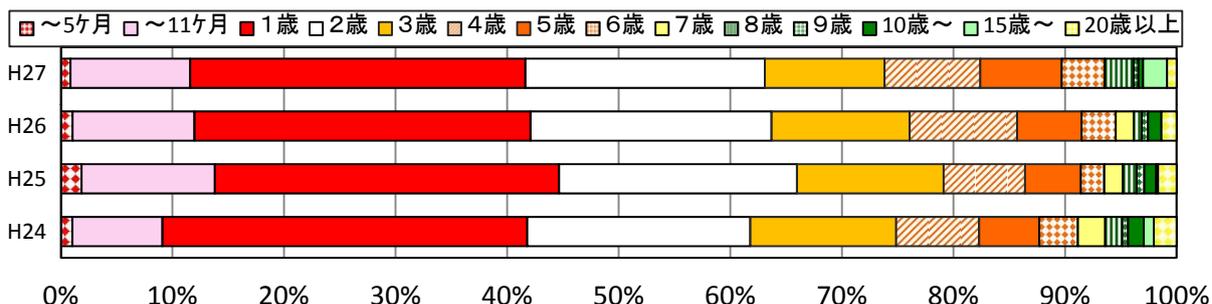
本市及び全国の定点当たり報告数



都道府県別定点当たり報告数



年齢階級別割合(京都市)



※平成27年は第27週までの報告数に基づく

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第27週

疾病,行政区別報告数

平成27年6月29日～平成27年7月5日

データ入手日:平成27年7月8日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	2	1	6	-	11	1	-	-	-	-	-	-						
上京	1	-	-	6	4	1	22	1	1	-	4	-	-	-						
左京	-	-	6	8	31	-	38	-	3	-	4	-	-	-						
中京	-	-	-	-	9	-	18	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	
東山	-	-	-	1	16	-	9	-	-	-	3	3								
山科	-	-	-	5	3	-	44	1	1	-	-	-	-	6						
下京	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-								
南	-	-	1	3	19	1	86	2	1	-	17	4								
右京	1	-	6	8	31	-	122	4	5	1	2	3	-	1						
伏見	1	-	4	17	35	1	182	1	5	-	23	6	-	1						
西京	1	-	2	6	25	2	58	3	-	-	4	-	-	-						
京都市計	4	-	21	55	179	5	597	13	16	1	59	17	-	8	-	-	1	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	0.50	0.25	1.50	-	2.75	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	0.20	-	-	2.00	1.33	0.33	7.33	0.33	0.33	-	1.33	-	-	-						
左京	-	-	1.50	2.00	7.75	-	9.50	-	0.75	-	1.00	-	-	-						
中京	-	-	-	-	3.00	-	6.00	-	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	
東山	-	-	-	0.50	8.00	-	4.50	-	-	-	1.50	1.50								
山科	-	-	-	1.25	0.75	-	11.00	0.25	0.25	-	-	-	-	6.00						
下京	-	-	-	-	-	-	3.50	-	-	-	-	-								
南	-	-	0.33	1.00	6.33	0.33	28.67	0.67	0.33	-	5.67	1.33								
右京	0.13	-	1.20	1.60	6.20	-	24.40	0.80	1.00	0.20	0.40	0.60	-	1.00						
伏見	0.09	-	0.57	2.43	5.00	0.14	26.00	0.14	0.71	-	3.29	0.86	-	0.50						
西京	0.14	-	0.50	1.50	6.25	0.50	14.50	0.75	-	-	1.00	-	-	-						
京都市計	0.06	-	0.51	1.34	4.37	0.12	14.56	0.32	0.39	0.02	1.44	0.41	-	0.80	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第27週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年6月29日～平成27年7月5日

データ入手日:平成27年7月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		21	-	2	2	5	2	4	-	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		55	-	1	-	2	3	7	6	3	3	5	1	11	1	12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		179	2	13	19	14	19	28	12	9	8	6	7	23	1	18	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	597	8	72	196	132	82	45	31	13	3	3	1	5	-	6	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		13	-	-	1	-	3	2	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	8	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		59	-	7	13	17	10	6	-	3	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		17	-	-	1	-	6	5	2	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.01	-	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.51	-	0.05	0.05	0.12	0.05	0.10	-	0.07	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.34	-	0.02	-	0.05	0.07	0.17	0.15	0.07	0.07	0.12	0.02	0.27	0.02	0.29	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.37	0.05	0.32	0.46	0.34	0.46	0.68	0.29	0.22	0.20	0.15	0.17	0.56	0.02	0.44	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	14.56	0.20	1.76	4.78	3.22	2.00	1.10	0.76	0.32	0.07	0.07	0.02	0.12	-	0.15	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.32	-	-	0.02	-	0.07	0.05	0.02	0.02	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.39	-	0.20	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.44	-	0.17	0.32	0.41	0.24	0.15	-	0.07	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.41	-	-	0.02	-	0.15	0.12	0.05	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	0.20	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	0.10	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1.00	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第27週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年7月8日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	9	8	4	1	2	4
RSウイルス感染症	2	1	-	1	1	-
咽頭結膜熱	23	23	24	23	17	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	73	79	66	54	55
感染性胃腸炎	277	237	284	218	265	179
水痘	15	21	16	16	17	5
手足口病	151	144	247	310	515	597
伝染性紅斑	15	10	15	12	21	13
突発性発しん	26	27	26	21	23	16
百日咳	-	-	1	-	-	1
ヘルパンギーナ	10	22	17	39	45	59
流行性耳下腺炎	8	7	11	10	18	17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	10	10	6	6	8
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	621	583	734	723	984	976

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.13	0.12	0.06	0.01	0.03	0.06
RSウイルス感染症	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-
咽頭結膜熱	0.56	0.56	0.59	0.56	0.41	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	1.78	1.93	1.61	1.32	1.34
感染性胃腸炎	6.76	5.78	6.93	5.32	6.46	4.37
水痘	0.37	0.51	0.39	0.39	0.41	0.12
手足口病	3.68	3.51	6.02	7.56	12.56	14.56
伝染性紅斑	0.37	0.24	0.37	0.29	0.51	0.32
突発性発しん	0.63	0.66	0.63	0.51	0.56	0.39
百日咳	-	-	0.02	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.24	0.54	0.41	0.95	1.10	1.44
流行性耳下腺炎	0.20	0.17	0.27	0.24	0.44	0.41
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	1.00	1.00	0.60	0.60	0.80
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	15.29	14.90	18.62	18.08	24.43	25.35

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。